

病院薬剤師と保険薬局薬剤師による連携に関する研究のお知らせ

2023 7 24

2027 3 31

〔研究課題〕

保険薬局薬剤師と病院薬剤師とのカンファレンスの有用性

〔研究目的〕

保険薬局薬剤師と病院薬剤師による情報共有が患者さんに与える影響について調査します。

〔研究意義〕

2020年の「薬剤師法並びに医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の改正・公布により、薬剤適正使用の推進の観点から、必要と認められる場合に継続的なフォローアップが求められるようになりました。この継続的なフォローアップは、調剤後から次の受診までの間のフォローアップも含まれます。このフォローアップを行うためには、十分な患者情報が必要です。病院薬剤部と保険薬局との連携により、情報共有は進んでいるものの、まだ十分とは言えない状況です。そこで帝京大学医学部附属病院薬剤部では、患者さんの同意が得られた場合に限り、保険薬局との情報交換会を行っております。この情報交換により、患者さんにどのような影響があるかを調査いたします。

〔対象・研究方法〕

対象患者： 2021年11月1日～2022年10月31日の期間にカンファレンスを実施した患者さん

研究方法： 診療録を用いて、抗がん薬治療の種類及び薬剤名、副作用、副作用に対する薬等について調査を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院薬剤部

〔個人情報の取り扱い〕

個人を同定できないように加工します

研究実施中の保管：調査したデータは薬剤部内の所定のパソコン内にパスワードをかけて保存します。

研究終了後の保管：倫理委員会事務局にデータセット等を提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後、廃棄します。

173-8606
TEL 03-3964-1211

2-11-1
30101 8268